

# 附属病院

## 総合診療部

### 著書

- 1 小田康友, 小泉俊三: III 基本的診療技能 腹部と泌尿生殖器の診察. 大滝純司, 仲田和正 編集: コア・カリキュラム対応 診療の基本 [改訂2版] (分担執筆), 339-344, 金芳堂. 2006.

### 総説

- 1 KOIZUMI, Shunzo: Editorial: Perceived Medical Error in Primary Care: Physician's Remorse and Patients' View—The Need for a Moral Perspective in the Analysis of Medical Harm. JMAJ 49: 9 & 10, 285, Japan Medical Association Journal. 2006.
- 2 小泉俊三: 患者安全と卒後臨床研修—研修医に求められるコンピテンシーと医療人教育の課題. 医療の質・安全学会誌 1: 1, 36-42, 医療の質・安全学会. 2006.
- 3 小泉俊三: 知っておくべき新しい診療理念: プロフェッショナリズム. 日本医師会雑誌 135: 9, 2012-2013, 日本医師会. 2006.
- 4 小泉俊三: EBM がもたらしたもの, めざすもの/EBM を実践できる医師を育てる環境は進んだか/卒後臨床研修 (大学病院). EBM ジャーナル 7: 1, 194-198, 中山書店. 2006.
- 5 小泉俊三: EBM の教育—医療のグローバルスタンダードに目を開かせる—. 診断と治療 94: 2, 217-221, 診断と治療社. 2006.
- 6 小泉俊三: 特集ジェネラリストのキャリアパス—後期研修を展望する—プライマリ・ケア医の養成はどこまで進んだか. JIM 16: 7, 532-535, 医学書院. 2006.
- 7 津田 司, 小松 真, 山田隆司, 小泉俊三: 合同座談会: 地域医療を担う医師の育成を目指して. 月刊地域医学 20: 12, 1050(2)-1060(12), 社団法人地域医療振興会. 2006.

### 原著

- 1 Noriyuki Misago, Yasuko Ohtsuka, Kenji Ishii and Yutaka Narisawa: Papular and Reticular Elastolytic Giant Cell Granuloma: Rapid Spontaneous Regression. Acta Dermato-Venerologica 87, 89-90. 2006.
- 2 薬師寺祐介, 原口祥典, 副島 修: A Hyperdense Artery Sign and Middle Cerebral Artery Dissection. Internal Medicine 45: 22, 1319-1322. 2006.
- 3 山田雅彦, 副島 修: Doctor shopping behavior with psychological distress: a survey using ICPC-2 and COOP/WONCA Charts in Japan. Japanese Journal of Primary Care 29: 2, 0914-8426. 2006.

### 学会発表

#### 国際学会

- 1 Mitsuhiro Takasaki, Shunzo Koizumi, Yoko Tanaka, Hiroyuki Nishiyama, Terutoshi Harada and Tadahide Totoki: DEVELOPMENT OF E-LEARNING COMMUNICATIONSYSTEM AMONG HEALTHCARE PROFESSIONALS (P279). IADIS International Conference e-Society 2006. Dublin, Ireland. 2006, July, 13-16. Digital Library of IADIS (Web 版), Searchable by Author "Takasaki".

- 2 Shunzo Koizumi, MD, FACS, Saga Medical School (Coordinator), Seiji Bito, MD, MSHS, National Hospital Organization, Shunichi Fukuhara, MD, MSc, DMSc, Kyoto University, Maiko Ono, MD, MPH, Karatsu-Kitahata Municipal Hospital, Saga, Junji Otaki, MD, DMSc, Tokyo Medical University, Yuko Y Takeda, MD, PhD, University of Tokyo, Seiji Yamashiro, MD, MS, Toyama Medical and Pharmaceutical University: Perceived Important Issues Regarding National Examination for Medical License of Japan by the Leaders of Japan Society for Medical Education—A National Survey (at Interest Group Session: Trans-Pacific Initiative in Generalist Education). Society of General Internal Medicine (Los Angeles, U.S. A.). Los Angeles, CA, U.S.A. 2006, April, 26-30. Journal of General Internal Medicine Vol.21, Supplement 1 (April).

#### 全国規模の学会

- 1 石井賢治 (ディスカッサント): クリニカル・カンファレンス 数年来の全身疼痛を主訴に訴える49歳男性. 第14回日本総合診療医学会学術集会. 宇部市文化会館. 2006, 3, 4. 総合診療医学会会誌 vol.11, No 1, 43. 2006.
- 2 小泉俊三: 医師国家試験改善のための重要課題について—日本医学教育学会評議員へのアンケート結果から. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 28-29. 医学教育 37巻補冊, 43.
- 3 小泉俊三, 小田康友, 酒見隆信: 学習内容の網羅性から見た PBL: 本学 PBL はコア・カリキュラムをどの程度網羅しているか. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 29-30. 医学教育 37巻補冊, 37.
- 4 西山裕之, 坂西雄太, 朝長元輔, 徳永理会, 好川直樹, 副島 修, 石井賢治, 江村 正, 小泉俊三: 安定した日常生活習慣病で, 大学病院にかかり続ける患者の受診理由についての調査. プライマリケア関連学会連合学術会議・第21回日本家庭医療学会. 名古屋. 2006, 5, 13.
- 5 西山裕之, 坂西雄太, 朝長元輔, 徳永理会, 好川直樹, 副島 修, 石井賢治, 江村 正, 小泉俊三: 安定した日常生活習慣病で, 大学病院にかかり続ける患者の受診理由についての調査. プライマリケア関連学会連合学術会議・第21回日本家庭医療学会. 名古屋国際会議場. 2006, 5, 13. 日本家庭医療学会.
- 6 酒見隆信, 小田康友, 小泉俊三: PBL テacher評価の試み—どのようなテacherが学生に評価されているか. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 28-29. 医学教育 37巻補冊, 43.
- 7 朝長元輔, 石井賢治, 坂西雄太, 西山裕之, 宮本理会 他5名: 当科で経験した感染性脊椎炎9例の検討と考察(結核性脊椎炎の2例を中心に). 第14回日本総合診療医学会学術集会. 宇部市文化会館. 2006, 3, 4. 総合診療医学会会誌 vol.11, No 1, 66. 2006.

#### 内科学会九州地方会

- 1 相原秀俊, 副島 修: 空調機の清掃にて改善した過敏性肺臓炎の一例. 第275回日本内科学会九州地方会. 大分. 2006, 11, 19. 日本内科学会雑誌 vol 96, No 3, 200.
- 2 中間健太郎, 西山裕之, 朝長元輔, 徳永理会, 副島 修, 石井賢治: 著明な高カルシウム血症のみられた副甲状腺腺腫の一例. 第273回 内科学会九州地方会. 熊本. 2006, 5, 20. 日本内科学会雑誌 vol 95, No 11, 192.
- 3 中間健太郎, 西山裕之, 朝長元輔, 徳永理会, 副島 修, 石井賢治: 著明な高カルシウム血症のみられた副甲状腺腺腫の一例. 第273回内科学会九州地方会. 熊本大学医学部総合研究棟. 2006, 5,

20. 日本内科学会雑誌 vol 95, No 11, 192.

- 4 副島 修：玄界島での離島医療と福岡県西方沖地震を経験して．県民医療アカデミーオブe-JAPAN. 佐賀. 2006, 11, 11.
- 5 好川直樹, 石井賢治, 山本巻一, 小泉俊三：オウム病に急性糸球体腎炎を合併した1症例. 第274回内科学会九州地方会. 鹿児島大学医学部鶴陵会館. 2006, 8, 19. 日本内科学会雑誌 vol 96, No 2, 214.

研究助成等

| 職名 | 氏名    | 補助金(研究助成)等の名称       | 種目                     | 研究課題等                                    | 交付金額(千円) |
|----|-------|---------------------|------------------------|--|----------|
| 教授 | 小泉 俊三 | 厚生労働科学研究費補助金        | 医療安全・医療技術評価総合研究事業      | 臨床研修医が初期研修の2年間に修得すべきEBM教育カリキュラムの開発に関する研究 | 8,000    |
| 教授 | 小泉 俊三 | 厚生労働科学研究費補助金        | 医療安全・医療技術評価総合研究事業(分担)  | 診療ガイドラインの適用と評価に関する研究                     | 10,000   |
| 教授 | 小泉 俊三 | 厚生労働科学研究費補助金        | 医療安全・医療技術評価総合研究事業(分担)  | 行政処分を受けた医師に対する再教育モデル事業に関する研究             | 7,000    |
| 教授 | 小泉 俊三 | 平成18年度文部科学省科学研究費補助金 | (分担)                   | シミュレーターなどを用いた,新しい医学教育プログラムの開発と実行,教育効果の検討 | 3,600    |
| 教授 | 小泉 俊三 | 厚生労働科学研究費補助金        | 政策科学総合研究事業(統計情報総合)(分担) | 医療分野IT化に対応した統計調査の在り方に関する研究               | 4,500    |